

祝賀会で船津さんを囲み記念撮影



船津和正さん（北多久町）の農林水産大臣賞受賞を祝して、7月5日市内ホテルで、祝賀会が開かれ、関係者など多くの人々が船津さんを祝いました。

この受賞は、農業委員として地域農業者の地位の向上に寄与された功績をたたえられたもので、船津さんは、平成26年7月に退任されるまで、20年にわたり農業委員として活動。その間、農業委員会会長として12年、また、県農業会議会長として2年務められました。他にも多久市議会議員として3期12年、多久市生産組合長会代表等を歴任されるなど、現在は、中山間地域総合整備事業北多久地区事業推進協議会会長としてご活躍中です。

船津さんの信条は、「一心鏡の如し 努力」で「思ったことは貫く。そのためには努力をしなければならない」と語られました。

「この賞に恥じることのないように、なお一層精進し、自分なりにできる恩返しの仕事がまだまだ残されていると思いますので、いっそう奮起し頑張りたい」と今後の意欲を話されました。

船津和正さん



農業委員として地域農業の発展に貢献！

船津さん農林水産大臣賞受賞

まちの話題

まちの話題をお寄せください!!

情報課 広報広聴係 ☎75-2280 / FAX 75-2110

青しまうり漬とそれを食べる横尾市長と高塚謙治さん



7月1日、多久農産物直売所たくさん館で多久市の特産品「青しまうり漬」発売開始式が行われました。

式の冒頭では、JAさが佐城地区担当吉岡久孝^{よしおかひさたか}常務理事が「6月の天候は良かったが、これからは雨がが多く花つきが悪くなるのが心配です。今年の出来は良好で、4000ケースを準備しています。少しの塩味と水分を摂ってこの夏を乗り切りましょう」とあいさつしました。

第一注文者の中垣マツア^{なかがき}さんは「ウォーキング仲間が毎年青しまうり漬を楽しみに待っている。発売開始にあわせて購入し、岩手県や新潟県など遠くの友人のところへ送ります」と話しました。

青しまうり漬の特徴は、「カリッ」とした歯ごたえがあり、ほどよい塩味で、昔ながらの味わいです。

販売は、10月頃までを予定しており、なくなり次第終了となります。

販売所は、市内のたくさん館、多久市物産館「朋来庵」等以外でも、佐賀フード館「季楽」やAコープ店でも販売しています。ぜひ、足を運んでみてはいかがでしょうか？

青しまうり漬の販売開始を祝ってテريبカットをする関係者



多久といえぱやっぱりこれ！青しまうり漬！

青しまうり漬 発売開始式

7/13 Mon.

安全安心の暮らしに向けて



多久市と武雄郵便局、多久郵便局及び北多久郵便局の4者による地域における見守り活動に関する協定を締結しました。

この協定は、市民の約3人に1人が65歳以上という高齢化の進展や一人暮らし高齢者の増加といった現状から、地域での見守り活動によって安全安心の地域づくりを目指し締結したものです。

今後は民生委員による安否確認などの公的な見守り活動に加え、郵便物の集配や貯金・保険の営業などで市民と接する機会が多い郵便局員が、配送等で訪問した際に、異変に気づいた場合は、市に情報提供をしていただくことになります。

6/28 Sun.

平和の象徴 優美に咲く



多久町の聖光寺ハス池傍広場で二千年ハス観察会（多久二千年ハスを守る会主催）が開催されました。

二千年ハスは、弥生時代の地層から発見された種子を発芽させたもので鮮やかなピンクの花を咲かせます。

観察会では、野中寛應住職（聖光寺）による多久の歴史講話、大川内義章同会代表による由来と育て方の説明に続き、種を宇宙に持っていくプロジェクトの紹介が藤川茂JAXA指導員からありました。

この日は子ども連れのファミリーやアマチュアカメラマンなど大勢の人が訪れ、盛んにシャッターを切っていました。